



牛乳生産費統計調査票

「農業簿記 11 (ソリマチ)」を活用した調査票

記入マニュアル

農林水産省

大臣官房統計部
経営・構造統計課

農林水産省

目次

はじめに

「農業簿記」での初期設定	1
部門や補助科目の設定、補助科目一覧表	2、3
調査票の記入	
1：経営の概況	4、5
2：生産物の販売等の状況	6～9
3：調査対象畜の生産に使用した資材等	10～21
4：物件税及び公課諸負担	22、23
5：消費税	24、25
6：借入金（買掛未払金を含む）及び支払利子	24、25
7：建物及び構築物（土地改良施設を含む） の所有状況	26、27
8：自動車（自動二輪・三輪を含む）の所有状況	28、29
9：農業機械（生産管理機器を含む）の所有状況	30、31
10：農具の購入費等	32、33
11：搾乳牛等の所有状況	34、35
12：作業別労働時間	36、37
13：地代（所有地及び借入地）	38、39
14：乳用牛の月齢別の飼育経費	40、41

<記入上の注意事項>

1. 調査項目欄については、右詰で記入してください。
2. 記入に際しては、黒の鉛筆またはシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムできれいに消してください。
3. 回答もれや回答誤りがないか、最後にもう一度ご確認ください。

※ 数字は枠からはみ出さないよう、楷書でていねいに記入してください。
※ 調査項目の具体的な説明については「調査票の記入の仕方」を参照してください。

はじめに

「農業簿記11」での初期設定

農業簿記のデータを用いて、牛乳生産費の調査票を記入する場合、事前に酪農部門を設定しておくほか、調査項目を農業簿記に設定しておく必要があります。
なお、牛乳のみ生産している場合は部門の設定は必要ありません。
(取引事項が発生した時点で、設定することも可能です)

部門の設定は、一番最初の起動時に、案内に沿って進めていくことで、設定されますが、酪農部門は後から設定します。

- 1 メニュー画面
- 2 初期を選択
- 3 基本を選択
- 4 部門設定を選択・・・部門階層は2もしくは3階層にします。
(詳細は、農業簿記「導入マニュアル」を参照してください。)

また、牛乳生産費用の調査項目を設定する場合は、補助科目機能を利用し、勘定科目の内訳を作成します。
例えば、飼料費の内訳として、「大麦」、「とうもろこし」、「配合飼料」等を設定する必要があります。
(3頁に一覧表があります。)

以下の手順にて、牛乳生産費用の調査項目を設定してください。

- 1 メニュー画面
- 2 初期を選択
- 3 基本を選択
- 4 勘定科目設定を選択
- 5 補助科目設定のボタンが表示されるので、クリックして、分類（売上、経費、負債等）別に、設定します。

<記入上の注意事項>

1. 「農業簿記」で、把握できない項目については、「記入の仕方」を参考にし、調査票に直接ご記入ください。
2. また、記入内容について、職員や専門調査員から照会等させていただく場合がございますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

【1】経営の概況

調査票 P3

1 経営耕地

区 分	所有地 (a)		借入地 (a)	
	ha	a	ha	a
田	1	70	3	0
普通畑	5	80	9	70
樹園地				
牧草地	1	180		

2 子牛

区 分	用語の説明	男 (人)	女 (人)
世帯員	世帯主と血縁又は姻戚関係になくとも一緒に住み、かつ生計をともにしている者 (住み込みの年雇等を含む。)	3	3
家族	夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団 (15歳未満を除く。)	3	2
農業就業者	年間の農業労働日数が60日以上者	2	2
150日以上	年間の農業労働日数が150日以上者	2	1
農業年雇	農業経営のためにおおむね年間 (7か月以上) を通じて雇った者	1	

3 認定農業者の状況

○ いる	○ いない
------	-------

「経営の概況」1～3項

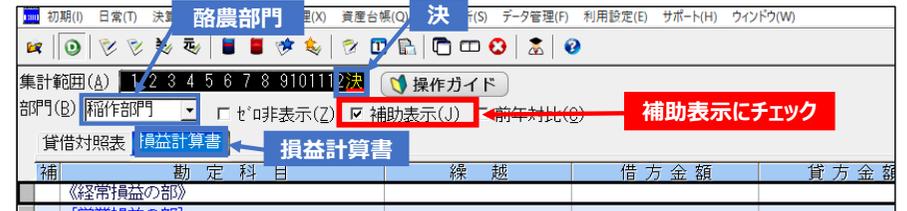
「農業簿記」では対応していません。
牛乳生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

※「農業簿記11」では、数量(頭数、重さ、割合比率など)の数値に関しては対応していません。

農業簿記 11 (ソリマチ) の参照の仕方

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

合計残高試算表 ⇒ 集計範囲: 決算 ⇒ 部門: 酪農部 ⇒ 表示タイプ「補助表示」にチェックを入れて、損益計算書を選択し印刷します。



ここでは、印刷した試算表の「残高」を見て、調査票に記入していくことを前提とします。
また、わかりやすいよう補助科目は赤字にしています。
(以下、同様です。なお、実際に印刷されたものは黒字です。)

【2】生産物の販売等の状況

調査票 P4~P6

1 生乳

区分	数量 (kg)	価額 (円)	内容
出荷 (乳代)	7000	630000	控除前の生乳代金 (消費税を含む。)
補給金等		60000	加工原料乳生産者補給金等の補給金
販売手数料		9500	農協や指定団体へ支払った手数料
集乳経費		18000	メーカーに引き渡されるまでの集送乳経費
小売り	50	4000	消費者に小売りした生乳の金額
子牛給与	180		
自家消費	30		
計			
乳脂肪生産量	280	4.00%	⇒乳脂肪生産量 (kg) がわからない場合、乳脂肪分率 (%) を記入してください。
無脂乳固形生産量	630	9.00%	⇒無脂乳固形生産量 (kg) がわからない場合、無脂乳固形分率 (%) を記入してください。

2 子牛

区分	乳用種		交雑種 (F1)		黒毛和種 (受精卵移植)	
	雄	雌	雄	雌	雄	雌
耳標番号を登録していない子牛の頭数 (頭)	2	1	1	1	1	

生乳の販売状況

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

合計残高試算表の決算・酪農部門・損益計算書を印刷します。

この事例では、売上高、生乳の補助科目として「生乳代 (出荷)」等を設定しました。

損益計算書		酪農部門			
勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
[経常損益の部]					
[売上高]					
生乳代 (出荷)				630,000	
成分乳 (脂肪乳)				250,000	
成分乳 (無脂固形乳)				350,000	
乳質乳				30,000	
小売り				4,000	
[生産原価]					
荷運賃手数料					
農協集乳費				18,000	
[経常損益の部]					
[販売費一般管理費]					
委託販売手数料				9,500	
[営業外損益の部]					
[営業外収益]					
助成金収入				60,000	
加工原料乳補給金				45,000	
集送乳奨励金				15,000	

「生乳及び子牛」の販売数量、頭数

「農業簿記」では対応していません。

牛乳生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

※「農業簿記11」では、数量 (頭数、重さ、割合比率など) の数値に関しては対応していません。

【2】生産物の販売等の状況（続き）

調査票 P5

3 きゅう肥の利用状況

総搬出量 の割合 (%)	販売用		
	自家利用	廃棄	
1 0 0	2 0	7 0	1 0

販売金額（円）			
5	0	0	0

物々交換した場合			
品目名 (具体的に記入)	数量		単位
	万	千	
稲わら	2	00	kg
麦わら	1	00	kg
玄米		60	kg
ジュース	1	000	円

きゅう肥の利用状況

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

合計残高試算表の決算・酪農部門・損益計算書を印刷します。

この事例では、売上高の補助科目として「生乳代（出荷）」等を設定しました。

損益計算書

酪農部門

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
[経常損益の部]					
【売上高】					
生乳代（出荷）				630,000	
成分乳（脂肪乳）				250,000	
成分乳（無脂固形乳）				350,000	
乳質乳				30,000	
小売り				4,000	
きゅう肥					
きゅう肥（販売用）				50,000	

きゅう肥の総排出量、物々交換量

「農業簿記」では対応しておりません。

牛乳生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。